

iEシリーズ

短縮設定/内線着信履歴用プログラム (iE / S) Ver.5.2.0.X

短縮設定/内線着信履歴用プログラム (iE / M) Ver.5.2.0.X

短縮設定/内線着信履歴用プログラム (iE / L) Ver.5.2.0.X

取扱説明書

利用規約

本規約に同意戴いた場合のみダウンロード及び使用して戴くことができます。

1. 著作権

短縮設定/内線着信履歴用プログラム (iE / S)、短縮設定/内線着信履歴用プログラム (iE / M)、短縮設定/内線着信履歴用プログラム (iE / L) (以下本プログラムという)の著作権は株式会社日立製作所及び株式会社ナカヨ通信機にある。本規約の定めによるもの以外、本プログラムのどの部分も、当社からの事前の書面による許可なく、電子的、機械的、複写機、記録などいかなる方法、いかなる形でも、転送、複製、検索システムに登録してはならない。

2. 使用範囲

本プログラムの使用は電話帳データ設定、内線着信履歴の読込に限る。

3. 複製の制限

使用にあたっての登録会社内にて、当社の製品の据付・メンテナンスの目的で使用する範囲で、複製を作成してもよい。

4. 制限事項

他者に本プログラムの複製を分配したり、あるいはネットワーク上で1つのコンピュータから他のコンピュータへ本プログラムを電送してはならない。本プログラムは企業秘密を含み、同秘密を保護するために、本プログラムを逆コンパイル、解析、逆アセンブル、その他人間が認知できるような形態に変更してはならない。さらに、本プログラムやその一部を、修正、改造、翻訳、賃貸、賃借、貸与、利益のための再販売、配布、ネットワーク接続し、或いは本プログラムやその一部に基づく派生的作品を作成してはならない。

5. 本プログラムの所有権

使用にあたっての登録会社はプログラムが記録或いは固定された媒体を所有するが、オリジナルの媒体に記録された本プログラム、並びにその後作成される本プログラムのすべての複製に対する権利及び所有権は、当該オリジナル及び複製が存在する形態や媒体に拘らず、当社が保持する。

6. 機密保持

使用にあたっての登録会社は、本プログラムの機密性を保持し、当社の事前の書面による明示的同意無しに、本プログラムをいかなる第三者にも開示しないこと。更に、登録していない人物に本プログラムに対するアクセスを阻止するために、あらゆる合理的な手段を講じること。

7. 個人情報の管理、保護

本プログラムを使用して確認出来る個人情報(お客様の電話帳データ等)は、使用を目的とする特約店様、販売店様がお客様に承諾を得た上で管理、利用すること。また、個人情報を管理する特約店様、販売店様については、個人情報の漏洩、改ざん等の危険にさらされない様に取扱権限者の明確化等の組織的な対応、更に悪意をもった人物の不正なアクセスを阻止するためにあらゆる合理的なセキュリティを確保すること。

【個人情報管理、保護に対するお客様へのご説明内容】

使用目的:本プログラムを使用することにより、工事/保守時間の短縮を図ることを目的とする。

お客様の主装置へのアクセスについては、販売店が教育した特定の保守者が実施する。

お客様の短縮ダイヤル情報は事前の書面による明示的同意なしに、いかなる第三者にも開示しない。

8. 賠償責任の制限

収益上の損失、貯蓄の損失、或いはデータの消失を含むいかなる偶発的、結果的、あるいは間接的損害についても、またはその他の何らかの当事者によるいかなる請求についても、当社はいかなる責任をも負うものではない。

9. 輸出

本プログラムまたは関連文献を輸出(海外提供)される場合には、外国為替及び外国貿易法の規則並びに米国輸出管理規則など、外国の輸出関連法規を確認の上、必要な手続きを取ること。

— 目次 —

第1部 (概要編)

1. はじめに(必ずお読みください)	1-1
1-1 本プログラムの概要	1-1
1-2 パソコン側の条件	1-2
1-3 接続方法	1-2
1-4 本プログラムの新規インストール	1-4
1-5 本プログラムのバージョンアップ	1-4
1-6 本プログラムのアンインストール	1-5
1-7 既設品の主装置の電話帳データ(短縮データ)を変更するときの注意事項	1-6
1-8 Q&A集	1-6

第2部 (電話帳データ設定編)

1. 本プログラムの操作の流れ	2-1
2. プログラムの起動	2-2
3. 電話帳データの読込	2-3
4. 電話帳データの編集	2-5
EXCELを使用して電話帳データを作成、編集する場合	2-10
5. 電話帳データの書込～プログラムの終了	2-14

第3部 (内線着信履歴編)

1. 本プログラムの操作の流れ	3-1
2. プログラムの起動	3-2
3. 内線着信履歴の読込	3-3
4. 内線着信履歴の表示・ファイル操作	3-5
5. 保存した内線着信履歴の確認～プログラムの終了	3-8
EXCELを使用して内線着信履歴を表示する場合	3-11

本説明書内の画面は一例です。プログラムの種類やバージョン、パソコン側の環境によって異なる場合があります。また、内容的に違いがない場合は、Windows Vista®の画面で記載しています。

第1部 (概要編)

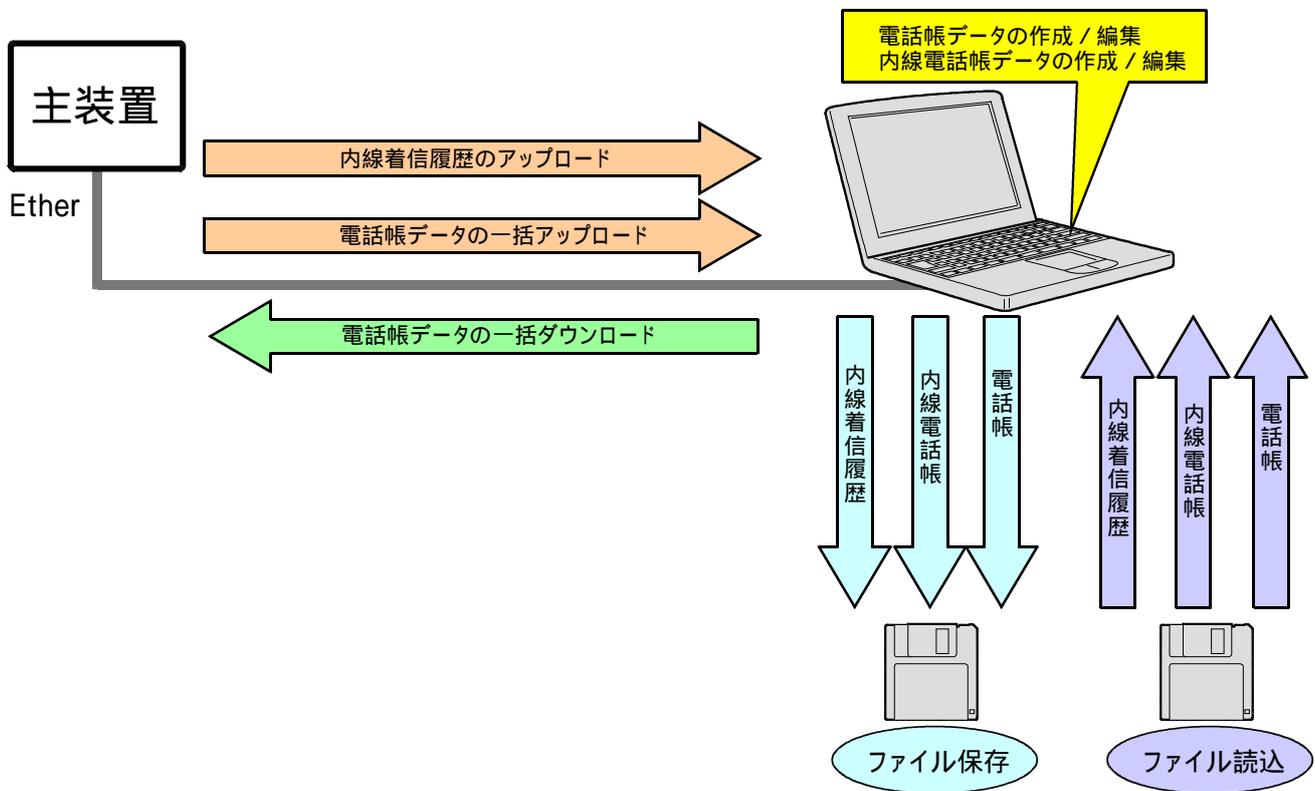
1. はじめに (必ずお読みください)

1-1 本プログラムの概要

本プログラムは以下のことができます。

電話帳データの読込...主装置の電話帳データ(短縮データ)をパソコンにアップロードする 電話帳、内線電話帳のアップロードは一括で行います。 新規工事以外で設定を変更する場合は、必ず最初に実行してください。
電話帳データの編集...パソコン上で電話帳データ・内線電話帳データを作成/変更する* 作成内容のファイル保存やファイルからの読込も可能です。
電話帳データの書込...パソコン上の電話帳データ(短縮データ)を主装置にダウンロードする 電話帳、内線電話帳のダウンロードは一括で行います。
内線着信履歴の読込...主装置の内線着信履歴をパソコンにアップロードする ファイル保存やファイルからの読込も可能です。

*: パソコン単独でも電話帳データ・内線電話帳データの作成、ファイル保存、ファイルからの読込が可能です。
(事前に設定ファイルを作成するときなど)

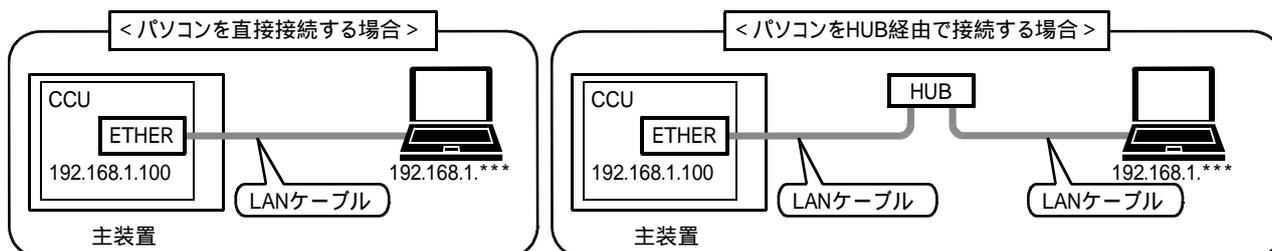


1-2 パソコン側の条件

- (1) パソコン: DOS/V(PC-AT互換機)
- (2) OS: Windows® XP Home Edition 日本語版(32bit版のみ対応)、Windows® XP Professional 日本語版(32bit版のみ対応)
Windows Vista® Ultimate 日本語版(32bit版のみ対応)、Windows Vista® Business 日本語版(32bit版のみ対応)
Windows Vista® Home Premium 日本語版(32bit版のみ対応)
Windows Vista® Home Basic 日本語版(32bit版のみ対応)、Windows Vista® Enterprise 日本語版(32bit版のみ対応)
Windows® 7 Home Premium 日本語版(32/64bit版対応)、Windows® 7 Professional 日本語版(32/64bit版対応)
Windows® 7 Enterprise 日本語版(32/64bit版対応)、Windows® 7 Ultimate 日本語版(32/64bit版対応)
- (3) CPU: Intel® Celeron™ 1GHz相当以上(Windows® XP)
Intel® Celeron™ 1.7GHz相当以上(Windows Vista® / Windows® 7)
- (4) 必要メモリ容量: 256MB以上(Windows® XP) / 512MB以上(Windows Vista®)
1GB以上(Windows® 7 32bit版) / 2GB以上(Windows® 7 64bit版)
- (5) ハードディスク容量: 100MB以上(セットアップ時)
- (6) 画面サイズ: 1024×768ピクセル以上
- (7) 必要なハードウェア: Etherポート

1-3 接続方法

下図のように主装置にパソコンを接続します。



ご注意

主装置のIPアドレスの初期値は「192.168.1.100」になっています。主装置をLAN環境に接続する場合は、データ設定により環境に合わせてIPアドレス変更してください。

詳細は、「工事・保守マニュアル(2. データ設定マニュアル編)」のコマンド *9400を参照

使用するパソコンの条件...LANカード/LANボード装着済、ネットワークプロトコルとしてTCP/IPがインストール済、ブラウザ:「Internet Explorer 6.0」以上

使用するパソコンのIPアドレスを主装置のIPアドレスと同じセグメントに変更してください。

例:主装置が「192.168.1.100」の場合は「192.168.1.***」を設定します(3オクテットまで同一にする)。

「Internet Explorer」は下記の設定を行ってください。

[ツール(T)]メニューから[インターネット オプション(O)]をクリックする

「インターネット オプション 画面」の[全般]タブにある「閲覧の履歴」の をクリックする

「インターネット一時ファイルと履歴の設定 画面」の「保存しているページの新しいバージョンの確認:」の下の「Webサイトを表示するたびに確認する(E)」を選択し、 をクリックする

「インターネット オプション 画面」の[接続]タブにある をクリックする

「ローカル エリア ネットワーク(LAN)の設定 画面」の「プロキシ サーバー」の下の「ローカル アドレスにはプロキシ サーバーを使用しない(B)」をチェックし、 をクリックする

または、「LANにプロキシ サーバーを使用する」はチェックを入れずに、 をクリックする(通常はプロキシサーバーを使用しているLANに接続しないパソコンの場合)

「インターネット オプション」画面の をクリックする

「Internet Explorer 6.X」の場合は、および は下記の操作を行います。

[全般]タブにある「インターネット一時ファイル」の をクリックする

「ページを表示するごとに確認する(E)」を選択し、 をクリックする

ご注意

使用するパソコンの「ファイアウォール」の設定は行わないでください。正常にアップロード、ダウンロードできなくなります。

Windows® XPの場合

[コントロール パネル(C)]から[ネットワークとインターネット接続]をクリックし、「ネットワークとインターネット接続 画面」の[ネットワーク接続]をクリックする(カテゴリ表示の場合)

[コントロール パネル(C)]から[ネットワーク接続]をダブルクリックする(クラシック表示の場合)

「ネットワーク接続 画面」の[ローカル エリア接続]を右クリックし、[プロパティ(R)]をクリックする

「ローカル エリア接続のプロパティ 画面」の[詳細設定]タブをクリックする

をクリックすると「Windows ファイアウォール 画面」となるので、「無効 (推奨されません) (F)」を選択し、

をクリックする(Windows® XP SP2の場合)

「インターネット接続ファイアウォール」のチェックを外し をクリックする(Windows® XP SP2より古い場合)

Windows® XP SP2以降でカテゴリ表示の場合は、下記の操作も可能です。

[コントロール パネル(C)]から[ネットワークとインターネット接続]をクリックし、「ネットワークとインターネット接続 画面」の[Windows ファイアウォール]をクリックする(カテゴリ表示の場合)

「Windows ファイアウォール 画面」で「無効 (推奨されません) (F)」を選択し、 をクリックする

Windows Vista® の場合

[コントロール パネル]から[ネットワークとインターネット]をクリックし、[Windows ファイアウォール]をクリックする(コントロールパネル ホーム表示の場合)

[コントロール パネル]から[セキュリティ センター]をクリックし、「セキュリティ センター 画面」の[Windows ファイアウォール]をクリックする(クラシック表示の場合)

「Windows ファイアウォール 画面」の[設定の変更]をクリックし、[詳細設定]タブをクリックする

「ネットワーク接続の設定」で、[ローカルエリア接続]のチェックを外し、 をクリックする

パソコンリモートサービスをご利用の場合には、[ローカルエリア接続]の他に、リモートサービス用のネットワーク設定に関しても同様にチェックを外してください。

Windows® 7の場合

[コントロール パネル]から[システムとセキュリティ]をクリックし、[Windows ファイアウォール]をクリックする(カテゴリ表示の場合)

[コントロール パネル]から[Windows ファイアウォール]をクリックする(大きいアイコンまたは小さいアイコン表示の場合)

「Windows ファイアウォール 画面」の[詳細設定]をクリックする

「セキュリティが強化された Windows ファイアウォール 画面」の[プロパティ]をクリックし、[パブリック プロファイル]タブ(使用するネットワークの場所が「ホームネットワークまたは社内(プライベート)ネットワーク」の場合は[プライベート プロファイル]タブ)をクリックする

「保護されているネットワーク接続」の をクリックし、[ローカルエリア接続]のチェックを外し、 をクリックする

パソコンリモートサービスをご利用の場合には、[ローカルエリア接続]の他に、リモートサービス用のネットワーク設定に関しても同様にチェックを外してください。

本プログラムを使用するときは、他のアプリケーションプログラムを終了してください。パソコンのシステムリソースが不足して詳細設定画面(Web画面)が開けなくなる場合があります。「メモリー不足ため、サーバが起動しませんでした。」のエラー画面が出たときは、パソコンを再起動してから本プログラムを起動してください。

Internet Explorer8又は、Internet Explorer9をご利用の場合、電話帳データの「詳細設定」又は「内線着信履歴表示」の各画面を表示した際、前の画面が表示されることがあります。その場合には、下記手順で設定を変更してください。

[ツール(O)]メニューから[インターネット オプション(O)]をクリックする

[閲覧の履歴]の終了時に閲覧の履歴を削除(W)にチェックをいれる

「インターネット オプション」画面の をクリックする

1 - 4 本プログラムの新規インストール

初めて本プログラムをインストールする手順は下記のとおりです。

ダウンロードしたファイルを実行します。

以降、画面の指示に従ってください。

標準インストール先

短縮設定/内線着信履歴用プログラム (iE / S) の場合...「C:\Program Files\iE_SPD1_S」フォルダ

短縮設定/内線着信履歴用プログラム (iE / M) の場合...「C:\Program Files\iE_SPD1_M」フォルダ

短縮設定/内線着信履歴用プログラム (iE / L) の場合...「C:\Program Files\iE_SPD1_L」フォルダ

プログラム名

短縮設定/内線着信履歴用プログラム (iE / S) の場合...「SPDIESXXXX.exe」

短縮設定/内線着信履歴用プログラム (iE / M) の場合...「SPDIEMXXXX.exe」

短縮設定/内線着信履歴用プログラム (iE / L) の場合...「SPDIELXXXX.exe」

プログラム名の「XXXX」はプログラムのバージョンを示します。

本プログラムをインストールすると、デスクトップに本プログラムのショートカットが作成されます。

本プログラムのバージョン確認方法

エクスプローラ等で、上記インストール先のフォルダにある本プログラムのファイルを右クリックし、プロパティでバージョン情報を確認してください。

本プログラム起動後の「メイン画面」でもバージョンが表示されます。

Windows® XP、Windows Vista®、Windows® 7のパソコンへのインストールは、管理者の権限で行う必要があります。他のユーザでログインしてインストールを行った場合、本プログラムが正常に動作しません。

1 - 5 本プログラムのバージョンアップ

以前、本プログラムを使用していて、最新版にバージョンアップする手順は下記のとおりです。

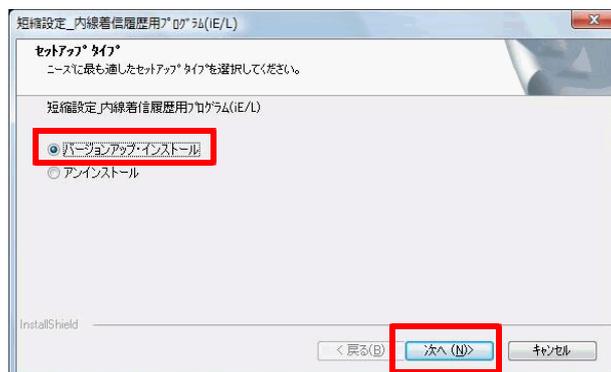
ダウンロードしたファイルを実行します。

しばらくすると「セットアップタイプ 画面」となります。

「バージョンアップ・インストール」を選択し、**次へ(N)>**をクリックしてください。

以降、画面の指示に従ってください。

インストール先、プログラム名は古いバージョンと同じです。



ご注意

Windows Vista® / Windows® 7をご使用で本プログラムのインストールを行なう際に、ユーザーアカウント制御警告が表示される場合があります。表示された場合には、ユーザーアカウントを確認して **続行** (Windows Vista® の場合) / **はい(Y)** (Windows® 7の場合) をクリックしてください。

1-6 本プログラムのアンインストール

本プログラムをパソコンから削除する場合は、下記の手順で行います。

Windows® XP の場合

[マイコンピュータ] [コントロールパネル]
[プログラムの追加と削除]を選択します。

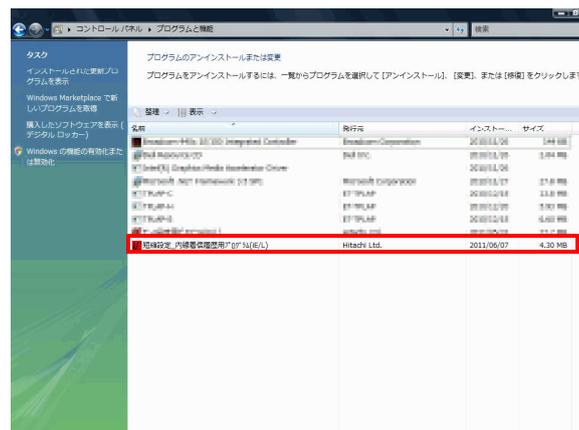
削除したいプログラムを選択し、**削除** をクリックします。



Windows Vista® / Windows® 7 の場合

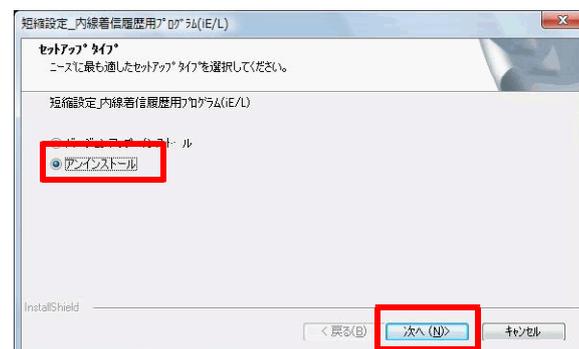
[コンピュータ]
[プログラムのアンインストールと変更]を選択します。

削除したいプログラムを選択し、ダブルクリックします。



しばらくすると「セットアップタイプ 画面」となります。
「アンインストール」を選択し、**次へ(N)>** をクリックしてください。

以降、画面の指示に従ってください。



ご注意

Windows Vista® / Windows® 7をご使用で本プログラムのアンインストールを行なう際に、ユーザーアカウント制御警告が表示される場合があります。表示された場合には、ユーザーアカウントを確認してから **続行** (Windows Vista® の場合) / **はい(Y)** (Windows® 7の場合) をクリックしてください。

Windows Vista® をご使用の場合、アンインストール後にショートカットアイコンが残ってしまう場合があります。画面の更新または、再起動を行なうと消去されます。

1 - 7 既設品の主装置の電話帳データ(短縮データ)を変更するときの注意事項

既に電話帳データが設定済の主装置に対して電話帳データを変更するときは、下記に注意してください。

ご注意

電話帳データ設定済の主装置に対して、本プログラムで新規に作成またはファイルから読み込んだ電話帳データを主装置にダウンロードすると、パソコン側で設定したデータに置き換わります。電話帳データ設定済の主装置のデータを変更するときは、下記の手順で行うようにしてください。

既設品の主装置の電話帳データ変更手順

「電話帳データの読込」を行う。

本プログラムを終了しないで、データを変更する。必要に応じてファイルの保存を行ってください。

ファイルの読み込みは行わないでください。

「電話帳データの書込」を行う。

一部の電話帳データをパソコンで変更する場合は、Web設定(「工事・保守マニュアル(2.データ設定マニュアル編)」の最後に記載の「Web設定について」参照)を利用することもできます。本プログラムは不要です。

1 - 8 Q&A集

	質 問	回 答
1	本プログラムでアップロードまたは、ダウンロードを行うと、「コネクト失敗」のメッセージが表示される。	<p>*9403の設定が「ポートクローズ」になっていませんか。(「ポートオープン」に変更してください。)</p> <p>*9403の設定は工事者設定となります。お客様が本プログラムをご使用の場合は、特約店、販売店にお問い合わせください。</p> <p>パソコンのIPアドレスは、主装置のIPアドレスと同一のセグメント内にありますか。(同一セグメントにしてください)</p> <p>パソコンセキュリティソフト(例:ウイルスバスター等)が常駐していませんか。(ソフトを停止して実行してください)</p> <p>パソコンの「ファイアウォール」が有効になっていませんか。(無効にしてください)</p>
2	本プログラムで「電話帳データの読込」を選択すると「受信データの読み込みに失敗しました」とエラーメッセージが出てアップロードできない。また、「電話帳データの編集」「詳細設定」を選択すると、「メモリ不足のため、サーバが起動できませんでした。」とエラーメッセージが表示され、設定画面も見ることができない。	パソコンのメモリが不足しています。パソコンのメモリを増設してください。
3	本プログラムを使用して、主装置に電話帳データの書込ができない。ダウンロード中画面が表示された後、0%の状態です。「コネクト失敗」メッセージが出る。これを何回か繰り返すと、登録OKになる場合がある。	パソコンのLANドライバが古くありませんか。(最新のドライバに更新して、再度実施してください)
4	Internet Explorerの電話帳入力画面にある「登録」ボタンを押した後に、入力データが画面に反映されない。	Internet Explorerの“インターネット一時ファイル” “設定” “保存しているページの新しいバージョンの確認”の設定が“Webサイトを表示するたびに確認する”になっていませんか。(設定を変更してください)
5	主装置に電話帳データの書込を行ったら、電話機の内線番号が消えてしまった。または、内線番号や内線名称が変更されてしまった。	電話帳データの書込を行う前に、「電話帳データの読込」を実施しましたか。実施していない場合、「内線電話帳を書込する」のチェックボックスにチェックを入れ書込すると、内線電話帳が初期値で書き込まれてしまい、内線番号や内線名称が消えたり、変更されてしまいます。電話帳データの書込を行う際には、必ず「電話帳データの読込」を実施してから、書込を行ってください。また、内線電話帳の書込が不要な場合は、「内線電話帳を書込する」のチェックボックスにチェックを入れないでください。
6	本プログラムからCSV形式でデータ保存後にEXCELでファイルを開いたら、電話番号の頭に「0」が付いていなかった。	CSV形式のファイルをEXCELで読み込んだ場合、電話番号欄の頭の「0」は削除されます。この状態で保存してしまうと「0」は削除されたままとなります。CSV形式のファイルを上書き保存しないように、必ず、本プログラムからCSV形式で保存したファイルは、バックアップとして保管しておいてください。CSV形式のファイルを編集する場合は、「EXCELを使用して電話帳データを作成、編集する場合」(3)本プログラムで保存したCSV形式のファイルを編集する場合」を参照してください。 P2-12参照

1. 本プログラムの操作の流れ

本プログラムは、以下の流れで操作してください。(参照ページは、各操作を記載している章の先頭ページを示しています。)

[1] 事前に電話帳データを作成する場合

- ① プログラム起動 ⇒P2-2参照
- ② PCでの設定、ファイル保存 ⇒P2-5参照
 - 電話帳ファイル
 - 内線電話帳ファイル

【注】内線番号が初期から変更されている場合は、[4]の操作でファイル保存した内線電話帳ファイルを読み込んで、内線電話帳データを作成してください。
 お客様が本プログラムをご使用の場合で内線番号が変更されているかどうか、分からないときは、特約店、販売店にお問い合わせください。

[2] 新規に電話帳データを設定する場合 (事前作成ファイルなし)

- ① 主装置とPCを接続 ⇒P1-2参照
- ② プログラム起動 ⇒P2-2参照
- ③ PCでの設定、ファイル保存 ⇒P2-5参照
 - 電話帳ファイル
 - 内線電話帳ファイル
- ④ 「電話帳データの書込」を実行 ⇒P2-14参照

【注】内線番号が初期から変更されている場合は、[4]の操作でファイル保存した内線電話帳ファイルを読み込んで、内線電話帳データを作成してください。
 お客様が本プログラムをご使用の場合で内線番号が変更されているかどうか、分からないときは、特約店、販売店にお問い合わせください。

[3] 新規に電話帳データを設定する場合 (事前作成ファイルあり)

- ① 主装置とPCを接続 ⇒P1-2参照
- ② プログラム起動 ⇒P2-2参照
- ③ ファイル読込 ⇒P2-5参照
 - 電話帳ファイル
 - 内線電話帳ファイル
- ④ 「電話帳データの書込」を実行 ⇒P2-14参照

※事前作成の内容で変更が必要な場合は、③の後でPCでの設定変更、ファイル保存を行ってください。

[4] 主装置の電話帳データをパソコンで読み込み、保存しておく場合

- ① 主装置とPCを接続 ⇒P1-2参照
- ② プログラム起動 ⇒P2-2参照
- ③ 「電話帳データの読込」を実行 ⇒P2-3参照
- ④ ファイル保存 ⇒P2-5参照
 - 電話帳ファイル
 - 内線電話帳ファイル

[5] 主装置の電話帳データを変更する場合

- ① 主装置とPCを接続 ⇒P1-2参照
- ② プログラム起動 ⇒P2-2参照
- ③ 「電話帳データの読込」を選択 ⇒P2-3参照
★必ず実行してください。
- ④ PCでの変更*1、ファイル保存 ⇒P2-5参照
 - 電話帳ファイル
 - 内線電話帳ファイル
- ⑤ 「電話帳データの書込」を実行 ⇒P2-14参照

*1: 主装置から読み込んだ電話帳データを変更します。

2. プログラムの起動

1 本プログラムを起動すると『メイン画面』が表示される。

●各ボタンの説明

電話帳データの読込 …主装置に接続して、主装置内の電話帳データを読み込みます。(アップロード)

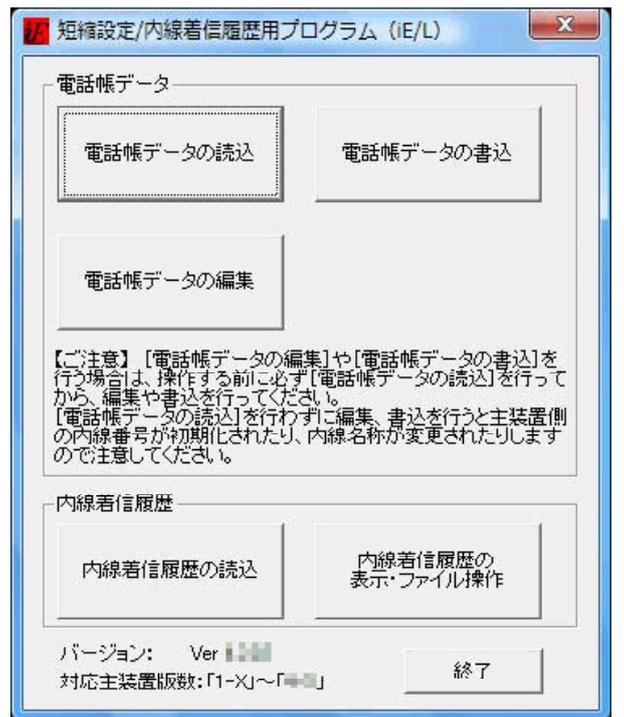
電話帳データの編集 …電話帳データの作成／変更、ファイル読込、ファイル保存を行います。

電話帳データの書込 …パソコンで作成／変更した電話帳データを主装置に書き込みます。(ダウンロード)

内線着信履歴の読込 …主装置に接続して、主装置内の内線着信履歴データを読み込みます。(アップロード)

内線着信履歴の表示・ファイル操作 …読み込んだ内線着信履歴データの表示やファイル保存を行います。

内線着信履歴の詳細は第3部をご確認ください。



※以降の説明は、パソコンを主装置に接続して主装置側の電話帳データの読み込みや、パソコンから主装置に電話帳データを書き込む場合を説明しています。

パソコンで事前に電話帳データの作成／編集のみを行う場合は、「3. 電話帳データの読込」は省略します。

3. 電話帳データの読込

主装置側の電話帳データをパソコンで読み込みます。

※電話帳および内線電話帳は一括で読み込みます。

●事前確認（工事・保守マニュアルを参照してください。）

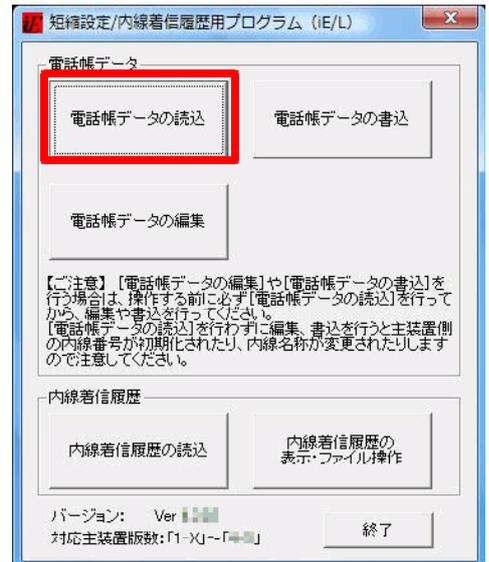
(1) 主装置とパソコンは接続されているか？

(2) 主装置側のデータ設定アプリ用ポート設定はポートオープンになっているか？（*9403）

(3) 主装置のIPアドレス（*9400）を変更した場合、主装置の電源のOFF/ONを行ったか？

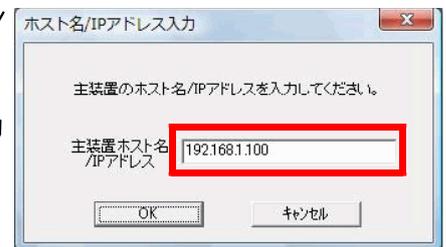
※*9400、*9403の設定は工事者設定となります。お客様が本プログラムをご使用の場合は、特約店、販売店にお問い合わせください。

1 本プログラムを起動したら、『メイン画面』で **電話帳データの読込** をクリックする。



2 『メイン画面』で **電話帳データの読込** をクリックすると、『ホスト名/IPアドレス入力画面』となる。
接続されている主装置のIPアドレスを入力して **OK** をクリックする。
IPアドレスの入力は、「192.168.1.100」のようにドットを付けて入力してください。

※初期値は192.168.1.100です。



3 『パスワード入力画面』となるので、主装置側のコマンド*000に設定されているパスワード4桁を入力し、**OK** をクリックする。

※パスワードは半角数字を使用します。

※初期設定は0000です。



4

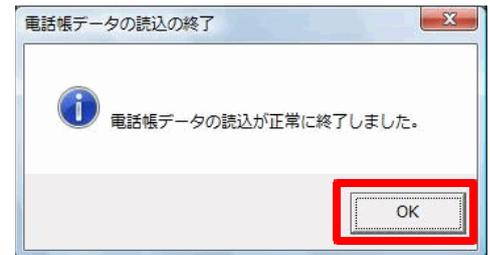
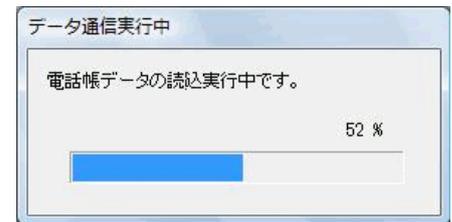
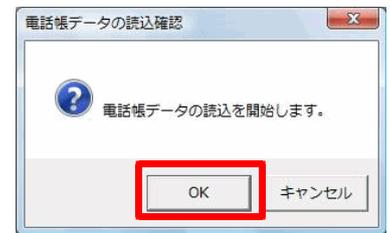
『電話帳データの読込確認画面』となるので、読込(アップロード)を開始してよい場合は、**OK** をクリックする。

★**中断できないので注意してください。**

※ **キャンセル** をクリックすると、『メイン画面』に戻ります。

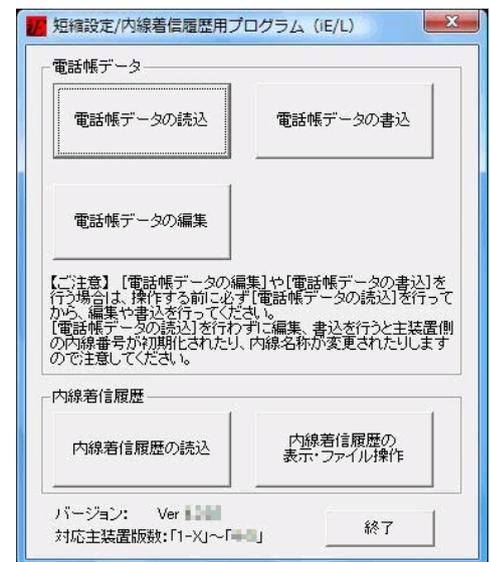
※読込を開始すると、『データ通信実行中画面』が表示され、インジケータに読込の進行状況が表示されます。

読込が完了すると『電話帳データの読込の終了画面』が表示されるので、**OK** をクリックする。



5

『メイン画面』に戻る。



ご注意

★アップロード中は、パソコン側で他のアプリケーションを使用しないでください。通信エラーとなることがあります。(特に、「デフラグ(ディスクの最適化)」は絶対に行わないでください。デフラグ中にアップロードしたデータを主装置にダウンロードすると、システムが使用不可となり主装置の初期化が必要です。)

★アップロード中に電話機を使用することもできますが、電話機の使用頻度が高くなると通信エラーとなることがあります。通信エラーとなった場合は、アップロードをやり直してください。また、電話機側で電話帳の登録操作など、設定に関係する操作は絶対に行わないでください。

※上記以外の場合でもエラーとなることがあります。

●エラーとなった場合は…

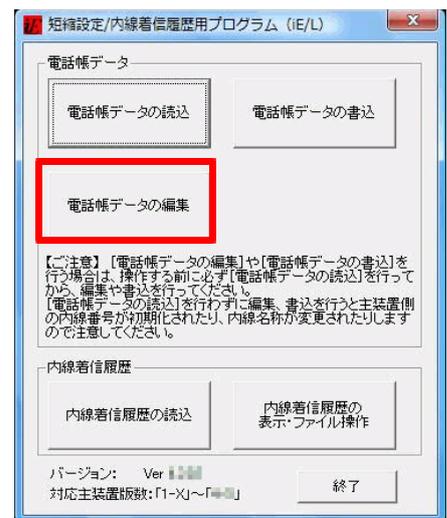
エラー画面(「ポートステータスチェックエラー発生」や「受信タイムアウトエラー発生」)の **OK** をクリックし、『メイン画面』(P2-3参照)まで戻ってからアップロードをやり直してください。

◆パソコンのスペック不足やメモリに多くのアプリケーションが常駐しているとエラーが発生しやすくなります。他のアプリケーションを終了したり、[画面のプロパティ]の[設定]タブでディスプレイの色を減らすことで回避できる場合があります。

4. 電話帳データの編集

パソコンで電話帳データの作成／編集、ファイル読込、ファイル保存を行います。

1 『メイン画面』で **電話帳データの編集** をクリックする。



2 『メニュー選択画面』となる。

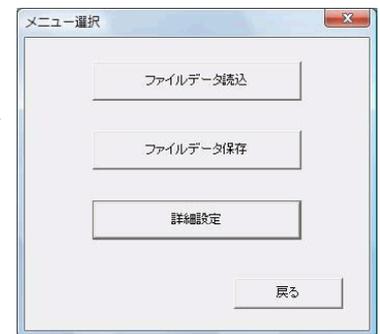
●各ボタンの説明

ファイルデータ読込 … 事前設定またはバックアップした電話帳データの設定ファイルを読み込みます。

ファイルデータ保存 … パソコン上にある電話帳データをファイル保存します。
⇒P2-8参照

詳細設定 … パソコン上で電話帳データの作成や変更を行います。

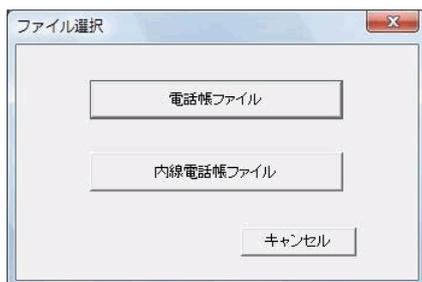
戻る … 『メイン画面』に戻ります。



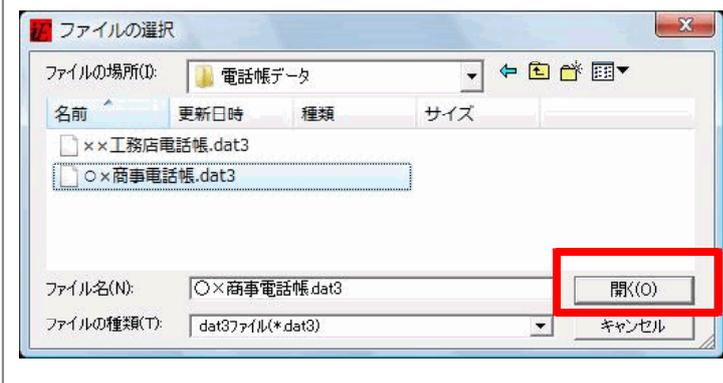
●作成済の電話帳データファイルを修正するときは、下記の手順で「ファイルデータ読込」を行ってください。

①『メニュー選択画面』で **ファイルデータ読込** をクリックする。

②『ファイル選択画面』で読み込むファイルの種類を選択する。

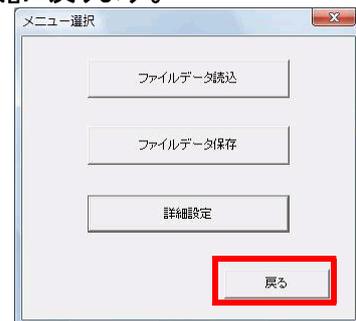


③読み込みたいファイルを選択して **開く(O)** をクリックするか、読み込みたいファイルをダブルクリックする。



④『ファイル選択画面』に戻る。

戻る をクリックすると、『メニュー選択画面』に戻ります。



★主装置から読み込んだ電話帳データを変更する場合は、ファイルを開かないでください。

※CSVファイルの読込も可能です。「ファイルの種類(T)」で「csvファイル(*.csv)」を選択します。
CSVファイルに関しては、P2-10も参照してください。

5

引き続き、「内線電話帳」の設定を行う。(必要時)

画面左側の「■内線電話帳」をクリックすると、ページリストが表示される。

編集する収容位置のページ(PAGE)を選択し、各項目の入力・変更等を行う。

表示しているページの入力・変更等が完了したら、画面一番下の **登録** をクリックする。

- 現在の設定内容(アップロードしたときは主装置側の設定内容、ファイルを読み込んだときはファイルに保存していた設定内容)が表示されます。
- 画面構成は機種によって異なります。
- 内線一般着信用のページ(収容位置601~)の内線電話帳データは、主装置のプログラム版数4-1版より有効となります。

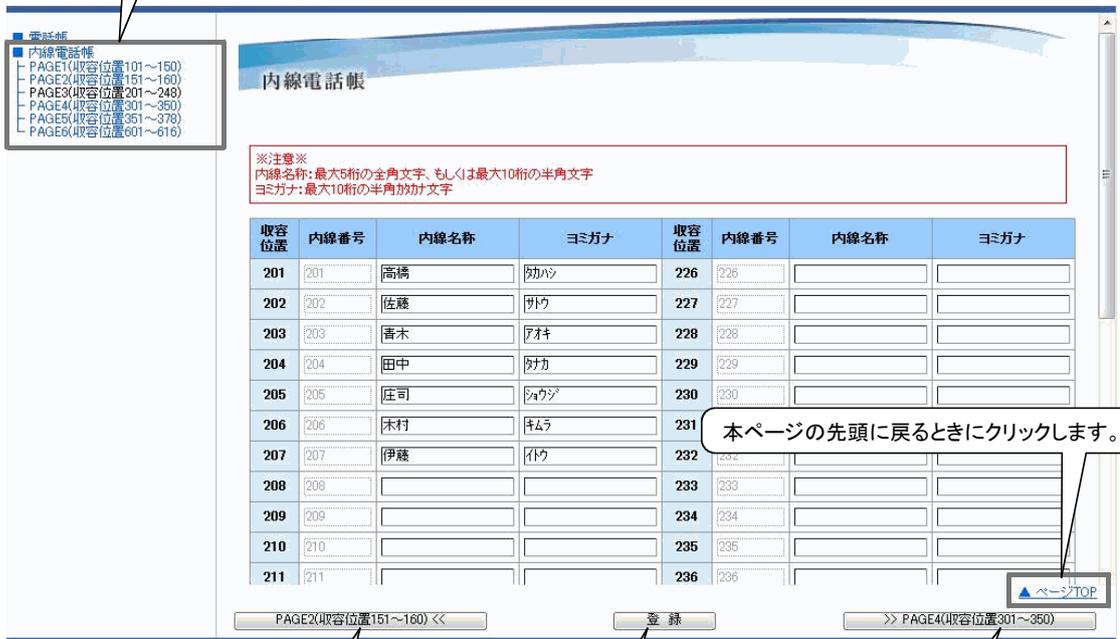
■各項目の入力文字数等の制限は下記のとおりです。

- 内線名称: 内線相手名称を入力します。全角10文字(半角20文字)まで
- カナ名称登録: ヨミガナを入力します。半角20文字まで

※[Tab]キーで各入力項目の移動が可能です。

内線番号50個毎に、ページが分かれています。

- 編集する収容位置をクリックすると、該当の入力画面となります。
- 現在表示しているページは色を変えて表示します。



現在表示している収容位置の前ページに移動するときをクリックします。

現在表示している収容位置の次ページに移動するときをクリックします。

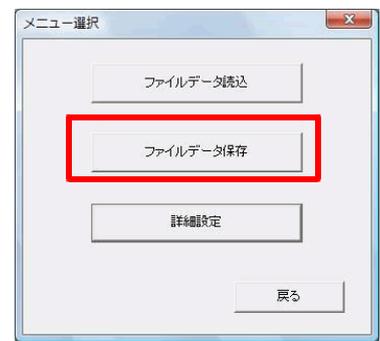
現在表示しているページの設定内容を登録します。
【注】設定内容を登録するときは、別のページに移動する前に必ずクリックしてください。クリックを忘れると、変更は全て無効となります。

6

全ての設定が終了したら「Internet Explorer」を終了する

※「Internet Explorer」を閉じてても設定内容は消えません。

7 『メニュー選択画面』で **ファイルデータ保存** をクリックする。



8 『ファイル選択画面』で読み込むファイルの種類を選択する。

●各ボタンの説明

電話帳ファイル … Web画面で設定した電話帳の設定内容をファイル保存します。

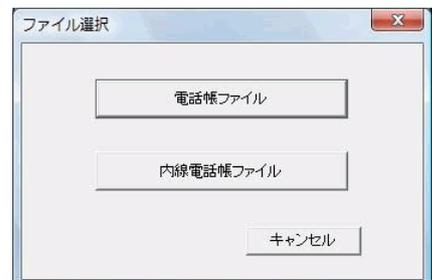
★保存に必要な容量:

- ・短縮設定用プログラム(iE / S):約800KB
- ・短縮設定用プログラム(iE / M):約800KB
- ・短縮設定用プログラム(iE / L):約800KB
(メモリ数=10000件のとき)

内線電話帳ファイル … Web画面で設定した内線電話帳の設定内容をファイル保存します。

★保存に必要な容量:

- ・短縮設定用プログラム(iE / S):約10KB
- ・短縮設定用プログラム(iE / M):約10KB
- ・短縮設定用プログラム(iE / L):約10KB

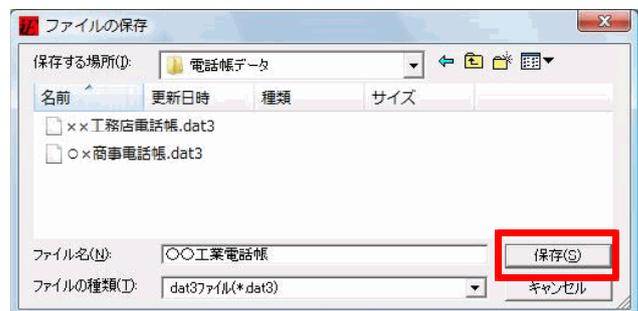


9 ファイル名を入力して **保存(S)** をクリックする。

現在パソコン上にある電話帳データがファイル保存されます。

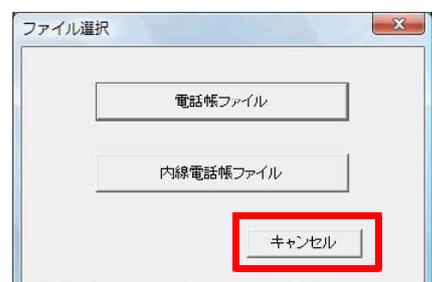
※電話帳(dat3)、内線電話帳(dat4)共と各ファイルは別々の拡張子で保存されます。

※CSVファイルの保存も可能です。「ファイルの種類(T)」で「csvファイル(*.csv)」を選択します。CSVファイルに関しては、P2-10も参照してください。

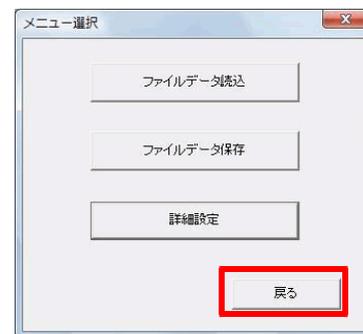


10 『ファイル選択画面』に戻る。

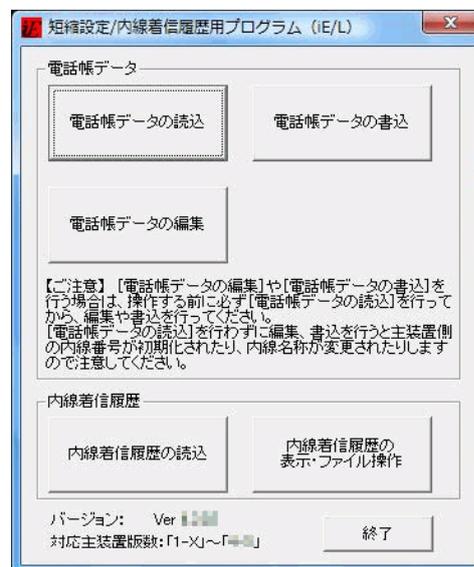
ファイル保存を終了するときは、**キャンセル** をクリックする。



11 『メニュー選択画面』で **戻る** をクリックする。



12 『メイン画面』に戻る。



●EXCELを使用して電話帳データを作成、編集する場合

EXCELを使用して電話帳データを作成または、本プログラムで作成した電話帳データを編集する場合、CSV形式のファイルを使用することで、作成または編集が可能となります。

(1)EXCELで電話帳ファイルを作成する

EXCELを使用して電話帳データを作成し、CSV形式で保存することにより、本プログラムでファイルを読み込むことができます。

※EXCELの使用方法は各アプリケーションの説明書等を参照してください。

下記手順で電話番号一覧を作成してください。

- ①下記に示すフォーマットで電話番号一覧を作成する。
(全てのセルの書式を「文字列」に設定してから作成してください。)

必ず0000から入力 →

	A	B	C	D	E	F	G
1	短縮番号	電話番号	名前	ヨミガナ	用途	短縮G	外線G
2	0000	0312345678	東京本社	トウキョウホンシャ	1	1	1
3	0001	0612345678	大阪支社	オオサカシヤ	1	1	2
4	0002	0521234567	名古屋支店	ナゴヤシテン	1	1	2
5	0003	09011111111	鈴木携帯	スズキケイタイ	101	2	3
6	0004	09022222222	斉藤携帯	サイトウケイタイ	102	2	3
7	0005	09033333333	佐藤携帯	サトウケイタイ	101	2	3
8	0006	0451234567	青木商事	アオキショウジ	1	4	1
9	0007	045123567	佐々木工業	ササキコウギョウ	1	4	1
10	0008	09044444444	中島携帯	ナカジマケイタイ	1	4	3

- 1行目: 短縮番号、電話番号、名前、ヨミガナ、用途、短縮グループ番号、外線発信グループ番号の文字(全て全角)を上記の順番通りに入力します。
- 短縮番号: 0000からの連番を半角数字で入力します。
データを入力した行は、必ず入力してください。全ての短縮番号を入力する必要はありません。(先頭の0000は必須)
- 電話番号: 電話番号を入力します。半角数字24文字まで。
- 名前: 相手名称をスペースを入れずに入力します。全角10文字(半角20文字)まで。
- ヨミガナ: 電話帳検索で使用するカナ名称をスペースを入れずに入力します。半角20文字まで。
- 用途: 共通電話帳の場合は共通電話帳管理番号「1または2(iE/Sタイプ) / 1~7(iE/MLタイプ)」を、マイ電話帳の場合は電話機の収容位置(3桁)を半角数字で入力します。
- 短縮グループ番号: 短縮グループ番号01~15を半角数字で入力します。
- 外線グループ番号: 0(指定なし)および外線グループ番号1~6を半角数字で入力します。
- ★名前・ヨミガナに半角の「/」、「¥」、「<」、「>」は使用しないでください。
- ★入力文字にカンマ「,」は使用しないでください。また、指定されているセルは必ず入力し、上記以外のセルにはデータを入力しないでください(住所データ等)。
- ★指定以外のフォーマットで作成した場合や、上記の入力条件に従わずに作成したファイルは利用できません。既に作成済の電話番号一覧がある場合は、指定のフォーマットに編集し直してください。
- ★各項目にて指定文字数を超過している場合、超過している部分は本プログラムで取得することはできませんので注意してください。
- ★用途欄が共通電話帳管理番号「1または2(iE/Sタイプ) / 1~7(iE/MLタイプ)」以外の場合、または収容位置(3桁)以外が入力されている場合、ファイルデータ読込の際に、用途欄を自動的に「1」(共通電話帳)として読み込みます。

②作成が済んだら、CSV形式で保存する。

※CSV形式の他、EXCELの通常の型式でもファイル保存することをお勧めします。

CSV形式のファイルを読み込んだ場合、電話番号欄の先頭の「0」が削除されますので、後日編集作業を行う場合は通常の型式で保存したファイルを利用した方が便利です。

- ③本プログラムの「ファイルデータ読込」-「電話帳ファイル」で保存したCSV形式ファイルを読み込んでください。
※CSV形式のファイルを読み込んだ後に、詳細画面で正常にデータが表示されていることを確認してください。(電話番号欄の先頭に「0」が入っていることを確認してください。)

(2) EXCELで内線電話帳ファイルを作成する

EXCELを使用して内線電話帳データを作成し、CSV形式で保存することにより、本プログラムでファイルを読み込むことができます。

※EXCELの使用方法は各アプリケーションの説明書等を参照してください。

下記手順で電話番号一覧を作成してください。

- ①下記に示すフォーマットで内線番号一覧を作成する。
(全てのセルの書式を「文字列」に設定してから作成してください。)

必ず101を入力 →

	A	B	C	D
1	収容位置	内線番号	内線名称	ヨミガナ
2	101	101	高橋	タカハシ
3	102	102	佐藤	サトウ
4	103	103	青木	アオキ
5	104	104	田中	タナカ
6	105	105	庄司	ショウジ
7	106	106	木村	キムラ
8	107	107	伊藤	イトウ

- 1行目: 収容位置、内線番号、内線名称、ヨミガナの文字(全て全角)を上記の順番通りに入力します。
 - 収容位置: 101からの連番を半角数字で入力します。
データを入力した行は、必ず入力してください。全ての収容位置を入力する必要はありません。(先頭の101は必須)
 - 内線番号: 内線番号を入力します。半角数字1~4桁(*080の設定に従う)。
*080の設定は工事者設定となります。お客様が本プログラムをご使用の場合は、使用できる内線番号を特約店、販売店にお問い合わせください。
 - 内線名称: 内線名称をスペースを入れずに入力します。全角5文字(半角10文字)まで。
 - ヨミガナ: 電話帳検索で使用するカナ名称をスペースを入れずに入力します。半角10文字まで。
- ★内線名称・ヨミガナに半角の「”」、「¥」、「<」、「>」は使用しないでください。
- ★入力文字にカンマ「,」は使用しないでください。また、指定されているセルは必ず入力し、上記以外のセルにはデータを入力しないでください。
- ★指定以外のフォーマットで作成した場合や、上記の入力条件に従わずに作成したファイルは利用できません。既に作成済の電話番号一覧がある場合は、指定のフォーマットに編集し直してください。
- ★各項目にて指定文字数を超えている場合、超えている部分は本プログラムで取得することはできませんので注意してください。
- ★内線番号の項目にて*080の設定と異なる桁数の内線番号を入力している場合、内線番号を本プログラムで取得することはできませんので注意してください。また、同じ内線番号を複数入力しないでください。

- ②作成が済んだら、CSV形式で保存する。

※CSV形式の他、EXCELの通常の型式でもファイル保存することをお勧めします。

CSV形式のファイルを読み込んだ場合、電話番号欄の先頭の「0」が削除されますので、後日編集作業を行う場合は通常の型式で保存したファイルを利用した方が便利です。

- ③本プログラムの「ファイルデータ読込」-「電話帳データ」で保存したCSV形式ファイルを読み込んでください。
※CSV形式のファイルを読み込んだ後に、詳細画面で正常にデータが表示されていることを確認してください。

(3) 本プログラムで保存したCSV形式のファイルを編集する場合

本プログラムで作成した電話帳、内線電話帳データを編集する場合、CSV形式でファイルを保存することでEXCELを使用して編集することが可能です。

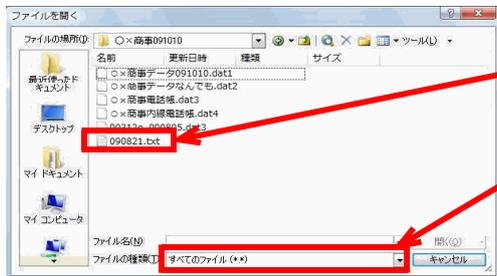
EXCELでCSVファイルを開いたり、エクスプローラでCSV形式のファイルをダブルクリックして開くと、電話番号欄の先頭の「0」が削除されてしまい、編集が出来なくなります。

下記の操作で拡張子の変更を行ってください。

①エクスプローラ等で、読み込みたいCSVファイルの拡張子を「txt」に変更する。

(例:「〇×商事電話帳.csv」を名前の変更で、「〇×商事.txt」に変更する。)

②EXCELで拡張子を「txt」に変更したファイルを開く。(必ず、EXCELの操作でファイルを開いてください。)

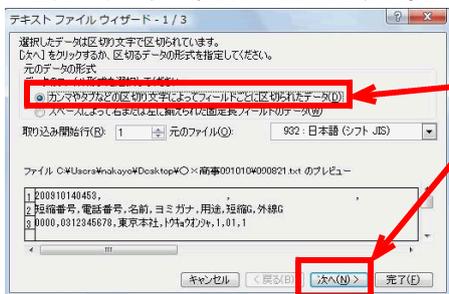


操作2: 開きたいtxtファイルを選択し、ダブルクリックまたは「開く」を押す

操作1: すべてのファイル (*.*)に変更する

③画面の指示に従って、操作する。

●元のデータの形式: 「カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ」を選択します。



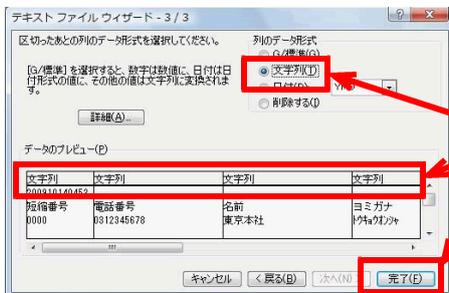
「カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ(D)」を選択し、「次へ(N)」をクリックする

●区切り文字: 「カンマ」を選択します。



「カンマ(C)」にチェックを入れて、「次へ(N)」をクリックする

●列のデータ形式: 全てのデータ項目を「文字列」にします。



全ての列を文字列に変更し、「完了(F)」をクリックする

④ [完了(F)] をクリックし、ファイルが開いたら上記(1)または(2)に従って編集作業を行う。

★編集を行う前に、1行目(12桁の数字が記載されている行)は必ず削除してください。上記(1)または(2)の①に示すフォーマットでないと、本プログラムでCSVファイルを読み込むことができません。

(4) iZシリーズ、iAシリーズの電話帳データをiEシリーズの電話帳データに変換する方法

iZシリーズやiAシリーズのパソコン短縮設定用プログラムの電話帳データと本プログラムの電話帳データはフォーマット形式が異なります。iZシリーズやiAシリーズからiEシリーズの主装置に交換する際に、既存の電話帳データをiEシリーズの主装置に移す場合は、下記の手順で電話帳データを変換して移してください。

電話帳データ変換手順(例:iAシリーズからiEシリーズの電話帳データへの変換)

- ①iAシリーズのパソコン短縮設定用プログラムを使用し、iA主装置の電話帳データを読み込む。
- ②iAシリーズのパソコン短縮設定用プログラムで電話帳ファイルを保存する際に、CSV形式で保存する。
(ファイルの種類を「CSVファイル(*.csv)」を選択して保存)
※保存したCSV形式の電話帳ファイルは、バックアップしておくことをお勧めします。
- ③エクスプローラ等で、読み込みたいCSVファイルの拡張子を「txt」に変更する。
(例:「〇× 商事電話帳.csv」を名前の変更で、「〇× 商事.txt」に変更する。)
- ④EXCELで拡張子を「txt」に変更したファイルを開く。(必ず、EXCELの操作でファイルを開いてください。)
詳細は、「(3)本プログラムで保存したCSV形式のファイルを編集する場合」を参照してください。
- ⑤EXCELを使用し、iEシリーズ用のフォーマット形式に修正する。
詳細は、「(1)EXCELで電話帳ファイルを作成する」を参照してください。
- ⑥EXCELで電話帳ファイルを作成後にCSV形式で保存する。
- ⑦本プログラムを使用し、保存したCSV形式ファイルを読み込む。

5. 電話帳データの書込～プログラムの終了

パソコン側の電話帳データを主装置に書き込みます。

※電話帳および内線電話帳は一括で書き込みます。

●事前確認（工事・保守マニュアルを参照してください。）

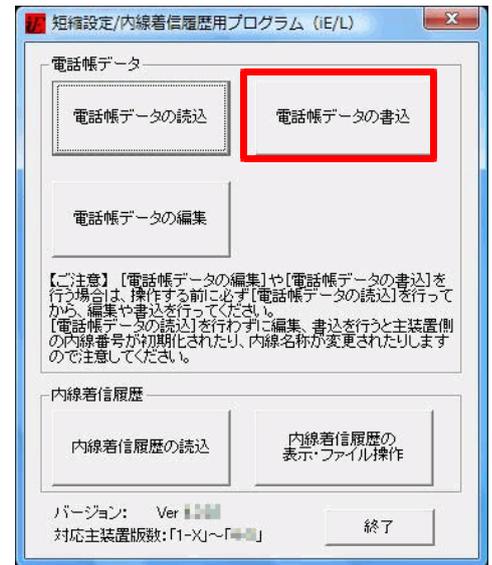
- (1) 主装置とパソコンは接続されているか？
- (2) 主装置側のデータ設定アプリ用ポート設定はポートオープンになっているか？（*9403）
- (3) 主装置のIPアドレス（*9400）を変更した場合、主装置の電源のOFF/ONを行ったか？

※*9400、*9403の設定は工事者設定となります。お客様が本プログラムをご使用の場合は、特約店、販売店にお問い合わせください。

1 『メイン画面』で **電話帳データの書込** をクリックする。

★電話帳データ設定済の主装置に対して、本プログラムで新規に作成またはファイルから読み込んだ電話帳データを主装置に書き込むと、パソコン側で設定したデータに置き換わります。必ず「電話帳データの読込」を先に行ってください。

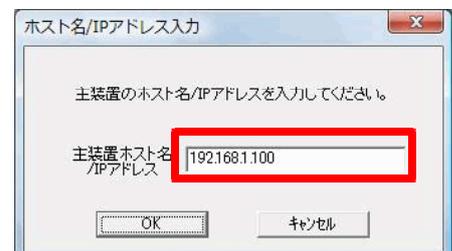
- ①「電話帳データの読込」⇒P2-3参照
- ②「ファイルデータ読込」は行わずに主装置から読み込んだ電話帳データを修正する。⇒P2-5参照
※ファイルを読み込むと、主装置から読み込んだ電話帳データが読み込んだファイルのデータに置き換えられます。
- ③「電話帳データの書込」の実行



2 『メイン画面』で **電話帳データの書込** をクリックすると、『ホスト名/IPアドレス入力画面』となる。

接続されている主装置のIPアドレスを入力して **OK** をクリックする。IPアドレスの入力は、「192. 168. 1. 100」のようにドットを付けて入力してください。

※初期値は192. 168. 1. 100です。



3 『パスワード入力画面』となるので、主装置側のコマンド*000に設定されているパスワード4桁を入力し、**OK** をクリックする。

※パスワードは半角数字を使用します。

※初期設定は0000です。



4

『電話帳データの書込確認画面』となるので、ダウンロードしたい短縮番号や内線電話帳のチェックボックスにチェックを入れてから、**OK** をクリックする。

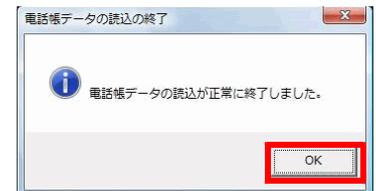
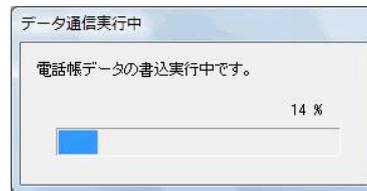
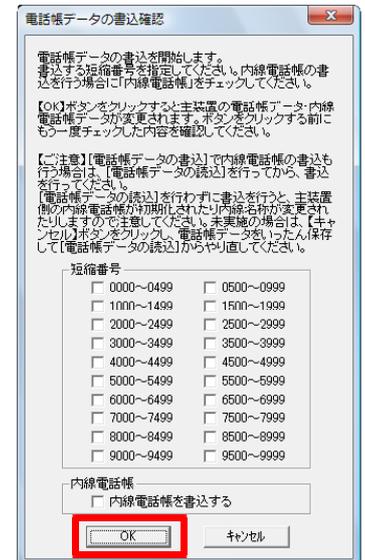
中止する場合には、**キャンセル** をクリックする。

★**中断できないので注意してください。**

※ **キャンセル** をクリックすると、『メイン画面』に戻ります。

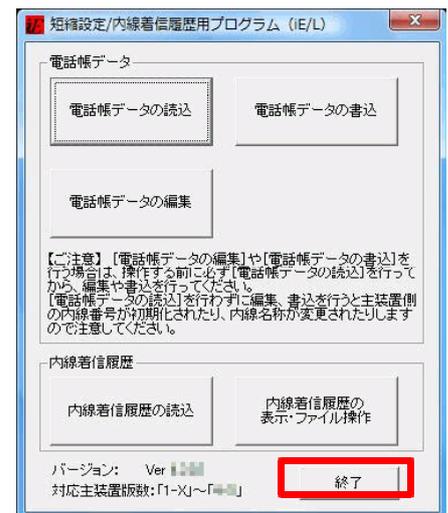
※ 書込を開始すると、『データ通信実行中画面』が表示され、インジケータに書込の進行状況が表示されます。

書込が完了すると『電話帳データの書込の終了画面』が表示されるので、**OK** をクリックする。



5

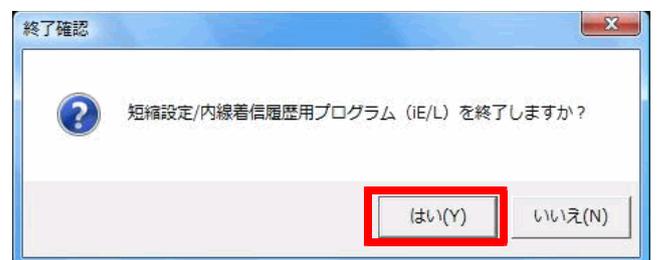
『メイン画面』に戻る。
作業を終了する場合は **終了** をクリックする。



6

『終了確認画面』で **はい(Y)** をクリックする。

※ **いいえ(N)** をクリックすると『メイン画面』に戻ります。



ご注意

★ダウンロード中は、パソコン側で他のアプリケーションを使用しないでください。通信エラーとなることがあります。(特に、「デフラグ(ディスクの最適化)」は絶対に行わないでください。デフラグ中にダウンロードすると、システムが使用不可となり主装置の初期化が必要です。)

★ダウンロード中に電話機を使用することもできますが、電話機の使用頻度が高くなると通信エラーとなることがあります。通信エラーとなった場合は、ダウンロードをやり直してください。また、電話機側で電話帳の登録操作など、設定に関する操作は絶対に行わないでください。

※上記以外の場合でもエラーとなることがあります。

●エラーとなった場合は…

エラー画面(「ポートステータスチェックエラー発生」や「受信タイムアウトエラー発生」)の をクリックし、『メイン画面』(P2-3参照)まで戻ってからアップロードをやり直してください。

◆パソコンのスペック不足やメモリに多くのアプリケーションが常駐しているとエラーが発生しやすくなります。他のアプリケーションを終了したり、[画面のプロパティ]の[設定]タブでディスプレイの色を減らすことで回避できる場合があります。

第3部 (内線着信履歴編)

1. 本プログラムの操作の流れ

本プログラムは、以下の流れで操作してください。(参照ページは、各操作を記載している章の先頭ページを示しています。)

[1] 主装置の内線着信履歴データをパソコンで読み込み、保存しておく場合

主装置とPCを接続 P 1-2 参照
プログラム起動 P 3-2 参照
「内線着信履歴の読込」を実行 P 3-3 参照
ファイル保存 P 3-5 参照

[2] 保存した内線着信履歴を読み込む場合

プログラム起動 P 3-2 参照
保存した内線着信履歴の確認 P 3-8 参照

ご注意

本プログラムで内線着信履歴を読み込めるのは、使用している主装置がプログラム版数4 - 1版以降(内線着信履歴対応バージョン)の場合のみです。

主装置のプログラム版数を必ずご確認の上、内線着信履歴の読み込みを行ってください。

お客様が本プログラムをご使用の場合で主装置のプログラム版数がわからないときは、特約店、販売店にお問い合わせください。

2. プログラムの起動

1 本プログラムを起動すると「メイン画面」が表示される。

各ボタンの説明

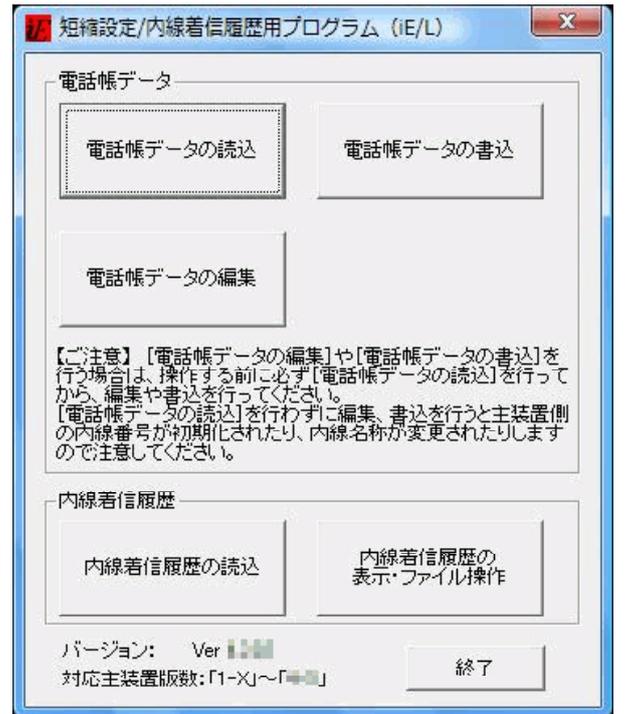
電話帳データの読込 ...主装置に接続して、主装置内の電話帳データを読み込みます。(アップロード)

電話帳データの編集 ...電話帳データの作成 / 変更、ファイル読込、ファイル保存を行います。

電話帳データの書込 ...パソコンで作成 / 変更した電話帳データを主装置に書き込みます。(ダウンロード)

内線着信履歴の読込 ...主装置に接続して、主装置内の内線着信履歴データを読み込みます。(アップロード)

内線着信履歴の表示・ファイル操作 ...読み込んだ内線着信履歴データの表示やファイル保存を行います。



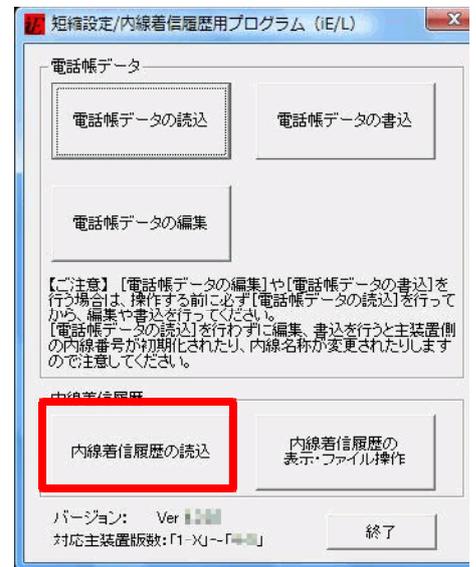
3. 内線着信履歴の読込

主装置側の内線着信履歴をパソコンで読み込みます。

事前確認 (工事・保守マニュアルを参照してください。)

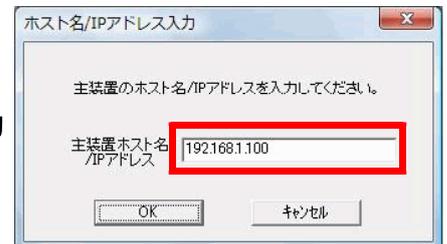
- (1) 主装置とパソコンは接続されているか？
- (2) 主装置側のデータ設定アプリ用ポート設定はポートオープンになっているか？ (*9403)
- (3) 主装置のIPアドレス (*9400)を変更した場合、主装置の電源のOFF/ONを行ったか？
*9400、*9403の設定は工事者設定となります。お客様が本プログラムをご使用の場合は、特約店、販売店にお問い合わせください。

1 本プログラムを起動したら、「メイン画面」で **内線着信履歴の読込** をクリックする。



2 「メイン画面」で **内線着信履歴の読込** をクリックすると、「ホスト名/IPアドレス入力画面」となる。接続されている主装置のIPアドレスを入力して **OK** をクリックする。IPアドレスの入力は、「192.168.1.100」のようにドットを付けて入力してください。

初期値は192.168.1.100です。



3 「パスワード入力画面」となるので、主装置側のコマンド *000 に設定されているパスワード4桁を入力し、**OK** をクリックする。

パスワードは半角数字を使用します。
初期設定は0000です。



4

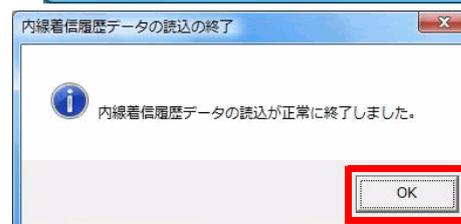
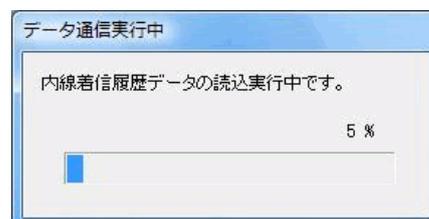
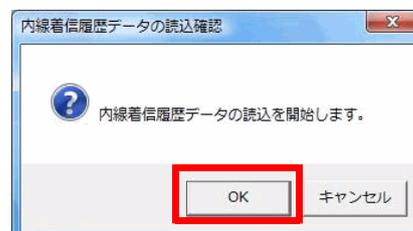
「内線着信履歴データの読込確認画面」となるので、読込(アップロード)を開始してよい場合は、**OK** をクリックする。

中断できないので注意してください。

キャンセル をクリックすると、「メイン画面」に戻ります。

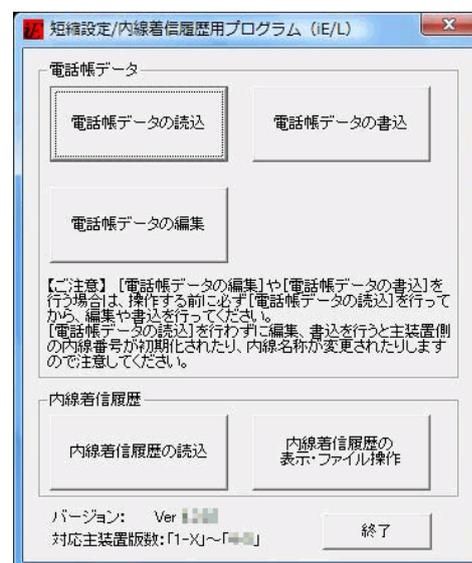
読込を開始すると、「データ通信実行中画面」が表示され、インジケータに読込の進行状況が表示されます。

読込が完了すると「内線着信履歴データの読込の終了画面」が表示されるので、**OK** をクリックする。



5

「メイン画面」に戻る。



ご注意

アップロード中は、パソコン側で他のアプリケーションを使用しないでください。通信エラーとなることがあります。(特に、「デフラグ(ディスクの最適化)」は絶対に行わないでください。デフラグ中にアップロードしたデータを主装置にダウンロードすると、システムが使用不可となり主装置の初期化が必要です。)

アップロード中に電話機を使用することもできますが、電話機の使用頻度が高くなると通信エラーとなることがあります。通信エラーとなった場合は、アップロードをやり直してください。

上記以外の場合でもエラーとなることがあります。

エラーとなった場合は...

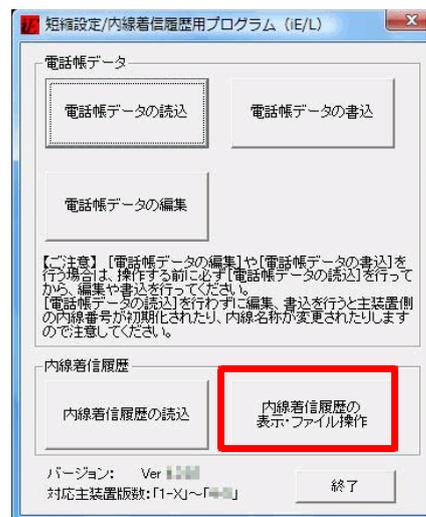
エラー画面(「ポートステータスチェックエラー発生」や「受信タイムアウトエラー発生」)の **OK** をクリックし、「メイン画面」(P3-3参照)まで戻ってからアップロードをやり直してください。

パソコンのスペック不足やメモリに多くのアプリケーションが常駐しているとエラーが発生しやすくなります。他のアプリケーションを終了したり、[画面のプロパティ]の[設定]タブでディスプレイの色を減らすことで回避できる場合があります。

4. 内線着信履歴の表示・ファイル操作

パソコンで内線着信履歴の表示、ファイル保存を行います。
ファイル保存が不要な場合は、操作6～7は不要です。

1 'メイン画面'で **内線着信履歴の表示・ファイル操作** をクリックする。



2 'メニュー選択画面'となる。

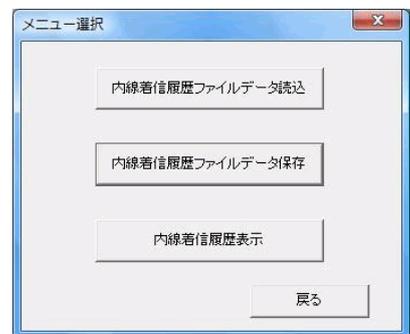
各ボタンの説明

内線着信履歴ファイルデータ読込 ... バックアップした内線着信履歴データのファイルを読み込みます。 P3 - 8参照

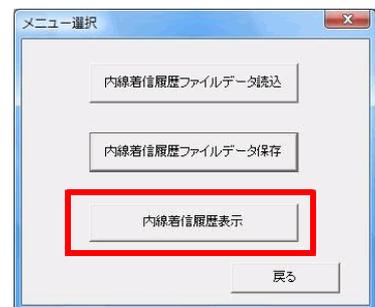
内線着信履歴ファイルデータ保存 ... 読み込んだ内線着信履歴データをファイル保存します。

内線着信履歴表示 ... 読み込んだ内線着信履歴データを表示します。

戻る ... 'メイン画面'に戻ります。



3 'メニュー選択画面'で **内線着信履歴表示** をクリックする。



「Internet Explorer」が起動され、Web画面が表示されるので、表示したい内線着信履歴のページ(PAGE)を選択する。

主装置から読み込み(アップロード)を行った場合は、読み込みを行った時点の内線着信履歴が表示されます。

各項目の表示内容は下記のとおりです。

項番: 履歴の項番です。新しい履歴から順に表示します(最新の履歴は0001)。

発信日付: 発信時の日付を表示します。

発信時刻: 発信時の時刻を表示します(24時間表示)。

呼出終了時刻: 応答時は応答時刻、不応答時は呼出停止時刻を表示します(24時間表示)。

発信者内線番号: 発信者の内線番号を表示します。

発信者名称: 発信者の内線名称またはヨミガナを表示します。

内線名称およびヨミガナが設定されていない場合は、表示されません。

発信者種別: 発信者の端末種別を表示します。

内線電話機の場合「一般内線」、インターホンの場合「インターホン」、IPカメラドアホン(IPカメラドアホンをインターホンとして利用時)の場合「IPCAMDH」となります。

呼出先名称/内線番号: 呼出先の内線名称、ヨミガナまたは内線番号を表示します。

内線名称およびヨミガナが設定されていない場合は、内線番号が表示されます。

内線一般着信の内線番号に登録した内線名称等も表示可能です。

応答種別: 着信に対して応答した場合は「応答」、不応答の場合は「不応答」を表示します。

折り返し発信者名称/内線番号: 不応答履歴に対して折り返し発信を行った電話機の内線名称、ヨミガナまたは内線番号が表示されます。

内線名称およびヨミガナが設定されていない場合は、内線番号が表示されます。

応答者名称/内線番号: 最後に通話していた電話機の内線名称、ヨミガナまたは内線番号を表示します。

内線名称およびヨミガナが設定されていない場合は、内線番号が表示されます。

内線一般着信の場合も最後に通話していた電話機の内線名称等を表示します。

応答者種別: 応答した端末種別を表示します。

内線電話機の場合「一般内線」、インターホンの場合「インターホン」、IPカメラドアホン(IPカメラドアホンをインターホンとして利用時)の場合「IPCAMDH」となります。

終話時刻: 終話時刻を表示します(24時間表示)。

通話時間: 通話時間を表示します(99:59:59まで表示)。

電話機グループ番号: 呼出先や最後に通話していた電話機の電話機グループ番号(2桁)を表示します。

内線着信に不応答時は、呼出先電話機の電話機グループ番号を表示します。

内線一般着信に不応答時は、内線一般着信の呼出番号に対応する電話機グループ番号を表示します。

理由コード: 通話時にダイヤルした理由コード2桁(00~99)を表示します。

未入力時は表示しません。

内線着信履歴50件毎に、ページが分かれています。確認したいIPAGEをクリックすると、該当する内線着信履歴の画面となります。現在表示しているページは色を変えて表示します。

※注意※
・表示時点のデータです。履歴の消去や追加等によって履歴の項番は移動します。
・表示できる項目には、電話機側の内線着信履歴に表示できない項目も含まれています。

項番	発信日付	発信時刻	呼出終了時刻	発信者内線番号	発信者名称	発信者種別	呼出先名称/内線番号	応答種別	折り返し発信者名称/内線番号	応答者名称/内線番号	応答者種別	終話時刻	通話時間	電話機グループ番号	理由コード
0001	2011/07/01	16:22:58	16:23:07	101	田中	一般内線	佐藤	応答		佐藤	一般内線	16:24:13	00:01:06	01	
0002	2011/07/01	16:22:38	16:22:49	102	佐藤	一般内線	田中	不応答	田中						01
0003	2011/07/01	16:21:49	16:21:52	101	田中	一般内線	佐藤	応答		佐藤	一般内線	16:22:33	00:00:41	01	
0004															
0005															
0006															
0007															
0008															
0009															
0010															
0011															
0012															

本ページの先頭に戻るときにクリックします。

現在表示している内線着信履歴範囲の次ページに移動するときをクリックします。

>> PAGE2(内線着信履歴0051~0100)

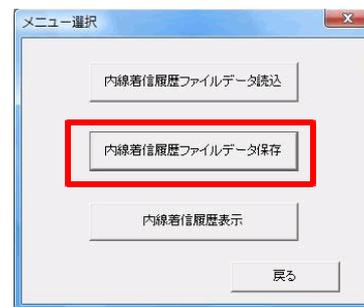
▲ページTOP

表示を終了する場合には、「Internet Explorer」を終了する。

「Internet Explorer」を閉じても読み込んだ内容は消えません。

6

'メニュー選択画面'で **内線着信履歴ファイルデータ保存** をクリックする。

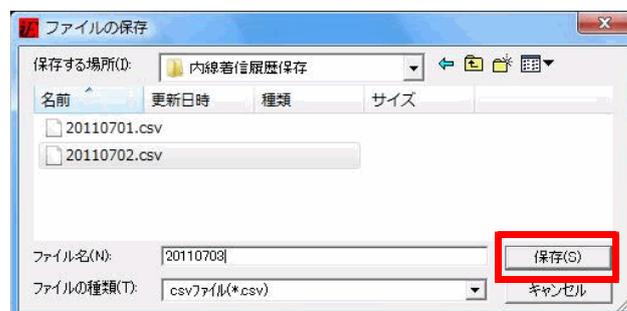


7

ファイル名を入力して **保存(S)** をクリックする。

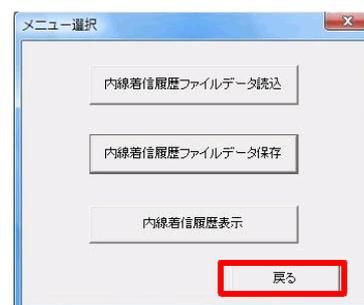
読込(アップロード)した内線着信履歴がファイル保存されます。

CSVファイルで保存されます。



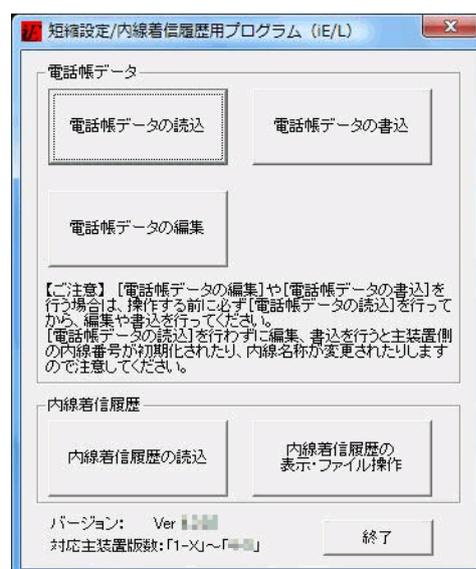
8

'メニュー選択画面'で **戻る** をクリックする。



9

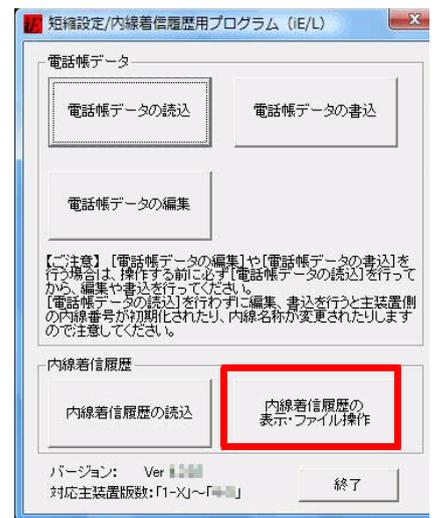
'メイン画面'に戻る。



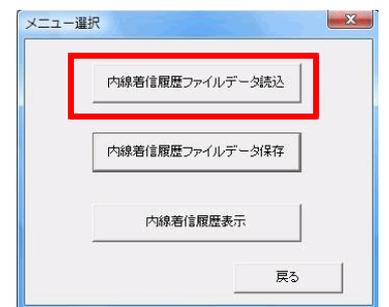
5. 保存した内線着信履歴の確認～プログラムの終了

保存した内線着信履歴を確認する。

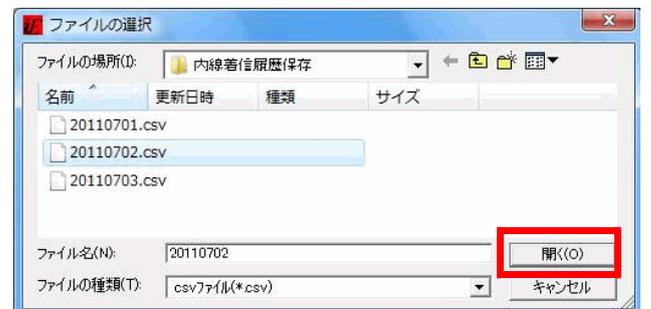
1 'メイン画面'で **内線着信履歴の表示・ファイル操作** をクリックする。



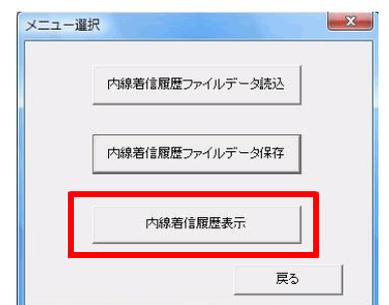
2 'メニュー選択画面'で **内線着信履歴ファイルデータ読み込み** をクリックする。



3 ファイル名を選択して **開く(O)** をクリックする。
保存されているファイルをプログラムに読み込みます。



4 'メニュー選択画面'で **内線着信履歴表示** をクリックする。



「Internet Explorer」が起動され、Web画面が表示されるので、表示したい内線着信履歴のページ(PAGE)を選択する。

各項目の表示内容は下記のとおりです。

項番: 履歴の項番です。新しい履歴から順に表示します(最新の履歴は0001)。

発信日付: 発信時の日付を表示します。

発信時刻: 発信時の時刻を表示します(24時間表示)。

呼出終了時刻: 応答時は応答時刻、不応答時は呼出停止時刻を表示します(24時間表示)。

発信者内線番号: 発信者の内線番号を表示します。

発信者名称: 発信者の内線名称またはヨミガナを表示します。

内線名称およびヨミガナが設定されていない場合は、表示されません。

発信者種別: 発信者の端末種別を表示します。

内線電話機の場合「一般内線」、インターホンの場合「インターホン」、IPカメラドアホン(IPカメラドアホンをインターホンとして利用時)の場合「IPCAMDH」となります。

呼出先名称/内線番号: 呼出先の内線名称、ヨミガナまたは内線番号を表示します。

内線名称およびヨミガナが設定されていない場合は、内線番号が表示されます。

内線一般着信の内線番号に登録した内線名称等も表示可能です。

応答種別: 着信に対して応答した場合は「応答」、不応答の場合は「不応答」を表示します。

折り返し発信者名称/内線番号: 不応答履歴に対して折り返し発信を行った電話機の内線名称、ヨミガナまたは内線番号が表示されます。

内線名称およびヨミガナが設定されていない場合は、内線番号が表示されます。

応答者名称/内線番号: 最後に通話していた電話機の内線名称、ヨミガナまたは内線番号を表示します。

内線名称およびヨミガナが設定されていない場合は、内線番号が表示されます。

内線一般着信の場合も最後に通話していた電話機の内線名称等を表示します。

応答者種別: 応答した端末種別を表示します。

内線電話機の場合「一般内線」、インターホンの場合「インターホン」、IPカメラドアホン(IPカメラドアホンをインターホンとして利用時)の場合「IPCAMDH」となります。

終話時刻: 終話時刻を表示します(24時間表示)。

通話時間: 通話時間を表示します(99:59:59まで表示)。

電話機グループ番号: 呼出先や最後に通話していた電話機の電話機グループ番号(2桁)を表示します。

内線着信に不応答時は、呼出先電話機の電話機グループ番号を表示します。

内線一般着信に不応答時は、内線一般着信の呼出番号に対応する電話機グループ番号を表示します。

理由コード: 通話時にダイヤルした理由コード2桁(00~99)を表示します。

未入力時は表示しません。

内線着信履歴50件毎に、ページが分かれています。確認したいIPAGEをクリックすると、該当する内線着信履歴の画面となります。現在表示しているページは色を変えて表示します。

※注意※
*表示時点のデータです。履歴の消去や追加等によって履歴の項番は移動します。
*表示できる項目には、電話機側の内線着信履歴に表示できない項目も含まれています。

項番	発信日付	発信時刻	呼出終了時刻	発信者内線番号	発信者名称	発信者種別	呼出先名称/内線番号	応答種別	折り返し発信者名称/内線番号	応答者名称/内線番号	応答者種別	終話時刻	通話時間	電話機グループ番号	理由コード
0001	2011/07/01	16:22:58	16:23:07	101	田中	一般内線	佐藤	応答		佐藤	一般内線	16:24:13	00:01:06	01	
0002	2011/07/01	16:22:38	16:22:49	102	佐藤	一般内線	田中	不応答	田中					01	
0003	2011/07/01	16:21:49	16:21:52	101	田中	一般内線	佐藤	応答		佐藤	一般内線	16:22:33	00:00:41	01	
0004															
0005															
0006															
0007															
0008															
0009															
0010															
0011															
0012															

本ページの先頭に戻るときにクリックします。

現在表示している内線着信履歴範囲の次ページに移動するときをクリックします。

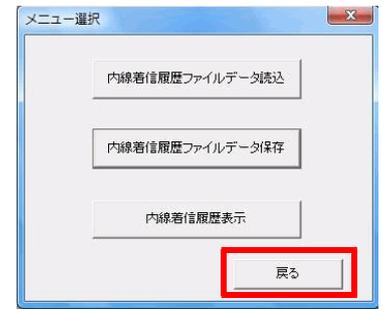
>> PAGE2(内線着信履歴0051~0100)

表示を終了する場合には、「Internet Explorer」を終了する。

「Internet Explorer」を閉じても読み込んだ内容は消えません。

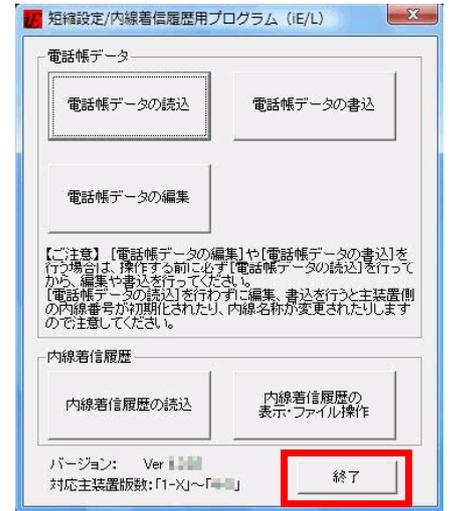
7

'メニュー選択画面'で **戻る** をクリックする。



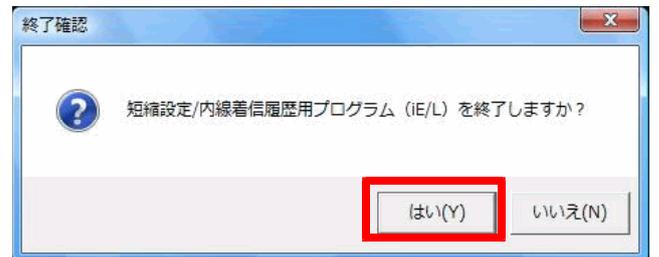
8

'メイン画面'に戻る。
作業を終了する場合は **終了** をクリックする。



9

'終了確認画面'で **はい(Y)** をクリックする。
いいえ(N) をクリックすると'メイン画面'に戻ります。



EXCELを使用して内線着信履歴を表示する場合

内線着信履歴データはCSV形式で保存されますので、EXCELを使用して表示/編集することができます。

表示したいファイルを開きます。



20110704.csv

ファイル表示は、下記フォーマットとなります。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
1	201107050935															
2	項番	発信日付	発信時刻	呼出終了時刻	発信者内線	発信者名称	発信者種別	呼出先名称	応答種別	折り返し発	応答者名称	応答者種別	終話時刻	通話時間	電話機グル	理由コード
3	1	2011/7/1	16:22:58	16:23:07	101	田中	2	佐藤	1		佐藤	2	16:24:13	0:01:06	1	
4	2	2011/7/1	16:22:38	16:22:49	102	佐藤	2	田中	0	田中					1	
5	3	2011/7/1	16:21:49	16:21:52	101	田中	2	佐藤	1		佐藤	2	16:22:33	0:00:41	1	
6	4															
7	5															
8	6															
9	7															
10	8															
11	9															
12	10															
13	11															
14	12															
15	13															
16	14															
17	15															
18	16															
19	17															

1行目のA列には、ファイルを保存した日時を表示します。

2行目の各列(A~P)の表示内容は下記のとおりです。

- A 項番:** 履歴の項番です。新しい履歴から順に表示します(最新の履歴は1)。EXCELで表示する場合、1~4桁表示となります。
- B 発信日付:** 発信時の日付を表示します。
- C 発信時刻:** 発信時の時刻を表示します(24時間表示)。
- D 呼出終了時刻:** 応答時は応答時刻、不応答時は呼出停止時刻を表示します(24時間表示)。
- E 発信者内線番号:** 発信者の内線番号を表示します。
- F 発信者名称:** 発信者の内線名称またはヨミガナを表示します。
内線名称およびヨミガナが設定されていない場合は、表示されません。
- G 発信者種別:** 発信者の端末種別を表示します。
内線電話機の場合「2」、インターホンの場合「0」、IPカメラドアホン(IPカメラドアホンをインターホンとして利用時)の場合「1」となります。EXCELで表示する場合は、「一般内線」等の端末種別名でなく数字での表示となります。
- H 呼出先名称/内線番号:** 呼出先の内線名称、ヨミガナまたは内線番号を表示します。
内線名称およびヨミガナが設定されていない場合は、内線番号が表示されます。
内線一般着信の内線番号に登録した内線名称等も表示可能です。
- I 応答種別:** 着信に対して応答した場合は「0」、不応答の場合は「1」を表示します。EXCELで表示する場合は、「応答」「不応答」の表示でなく数字での表示となります。
- J 折り返し発信者名称/内線番号:** 不応答履歴に対して折り返し発信を行った電話機の内線名称、ヨミガナまたは内線番号が表示されます。
- K 応答者名称/内線番号:** 最後に通話していた電話機の内線名称、ヨミガナまたは内線番号を表示します。
内線名称およびヨミガナが設定されていない場合は、内線番号が表示されます。
内線一般着信の場合も最後に通話していた電話機の内線名称等を表示します。
- L 応答者種別:** 応答した端末種別を表示します。
内線電話機の場合「2」、インターホンの場合「0」、IPカメラドアホン(IPカメラドアホンをインターホンとして利用時)の場合「1」となります。EXCELで表示する場合は、「一般内線」等の端末種別名でなく数字での表示となります。
- M 終話時刻:** 終話時刻を表示します(24時間表示)。
- N 通話時間:** 通話時間を表示します(99:59:59まで表示)。
- O 電話機グループ番号:** 呼出先や最後に通話していた電話機の電話機グループ番号を表示します。EXCELで表示する場合、1~2桁表示となります。
内線着信に不応答時は、呼出先電話機の電話機グループ番号を表示します。
内線一般着信に不応答時は、内線一般着信の呼出番号に対応する電話機グループ番号を表示します。
- P 理由コード:** 通話時にダイヤルした理由コードを表示します。EXCELで表示する場合、1~2桁表示となります。
未入力時は表示しません。